



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

「老害にはなりたくない」人の社会性のカギは 脳の抑制機能？ 認知心理学者とメカニズムに迫る

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

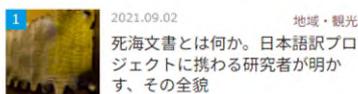
学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

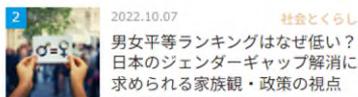
OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

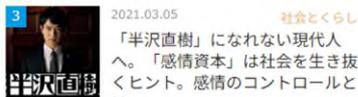
人気の記事 \よく読まれている記事！/



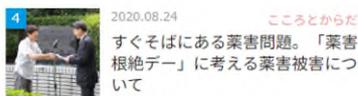
2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
93497Views
OTEMON VIEW編集部



2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
62307Views
OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
33744Views
OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 ところから
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
28858Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

超高齢社会を迎えた日本では、加齢にともなう身体機能や認知機能の低下が既に知られています。しかし、「老害」という言葉に繋がるような“高齢化と社会性低下の関係”は研究者の間でもよくわかっていませんでした。

それが今、心理学部 大塚結喜特任助教(専門：実験心理学・認知科学)の共同研究により明らかにされようとしています。高齢者の社会性の低下はなぜ起こるのか？社会性維持に必要な不可欠な要素とは？認知科学や脳のメカニズムにおける見地から解説します。

(以下は主なポイント)

脳の機能と社会性低下の関係とは

- 脳は一生をかけて変化するという事実
- 常識が変わる！？脳の外側の「灰白質」と、内部にある「白質」の話

加齢による社会性低下のメカニズムと脳の変化に迫る

- 実験から見てきた「抑制メカニズム」と社会性の関わり

- 社会性低下を起こさないポイントは「白質」にあり！

脳の機能低下を防ぐには、脳をいたわるライフスタイルを！？

- 脳が老けない秘訣は睡眠にあり

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/3335/>

「老害にはなりたくない」人の社会性のカギは脳の抑制機能？ 認知心理学者とメカニズムに迫る

大塚 結喜 (おおつか ゆき)
追手門学院大学 心理学部 心理学科
特任助教
専門：実験心理学、認知科学(生涯発達、高齢者、高次認知、記憶)

実験心理学 灰白質 白質 社会性 老害 脳のメカニズム 脳の抑制機能
認知心理学 認知科学 高次脳機能 高次認知

記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 仲西・織田